



立命館大学体育会射撃部

OB通信 75周年記念特別号

「射撃部創部75周年によせて」

OB会 会長 太田 英世



射撃部創部75周年にあたり、一言ご挨拶申し上げます。昭和3年の創部以来、400名を超える部員が立命館射撃部より巣立ちました。クラブ活動を通じて、競技力のみならず、精神的な修養を積み成長していくという学生スポーツの王道を歩んで参りましたが、歴史を振り返れば、常に平坦な道というものはありません。戦後に一時的に休部を余儀なくされた時期もありました。また、今日の常勝からは想像できない戦績の低迷期もあります。しかし、その時々において、先達の献身的な努力・創意工夫で改善し、現在の射撃部の姿があるのです。銃器・弾薬の取り扱い、クラブ運営の取り決めごとについても先輩方の成功や失敗体験に基づき知恵として結集されたものです。諸先輩の努力に感謝申し上げますとともに、現役部員の諸君には、これから入部してくるであろう未来の部員たちのために良き伝統を引き継ぎ、射撃部という「我が家」を守り続けて欲しいと思います。

私達の長年の夢でありました射撃場の建設も目前になりました。先日川本理事長から、正式に建設決定のお言葉をいただきました。理事長からも「射撃部の粘り勝ち」という評価をいただいたように、先輩方の時代からの射撃場建設要請の真摯な姿勢が今日において結実することになりました。そのお陰で、今の私達が射撃場建設という創部以来の快事に立ち会えるのです。射撃場は来年3月の竣工を目指して準備を重ねております。夢の実現が目前に迫っておりますが、慢心することなく、射撃部・OB会の発展のために努力して参りたいと思います。



射撃場建設決定 川本理事長を囲んで

■ 戦績報告

全関西学生ライフル射撃選手権大会26連覇！

第51回春季全関西学生ライフル射撃選手権大会が5月13日(木)から15日(日)まで、大阪府能勢ライフル射撃場で行われ、総合団体、種目別団体の全種目で優勝し、春秋通算26連覇を完全優勝で果たしました。個人でも4種目すべての優勝を立命館の選手が占め、今年度最初の試合として最高の結果でスタートしました。

総合団体 優勝 5100点

50m3×20

団体の部 優勝 1660点

個人の部 優勝 木村千穂 652.1 3位 松本真由美 646.6

50mP60

団体の部 優勝 1718点

個人の部 優勝 木村千穂 682.3 3位 織田健太 681.3

10mS60

団体の部 優勝 1722点

個人の部 優勝 中原麻衣 685.3

10mS40W

団体の部 優勝 1163点

個人の部 優勝 中原麻衣 490.6 2位 松本真由美 488.1

好調！西日本学生ライフル射撃選手権大会も連覇

第15回西日本学生ライフル射撃選手権大会が6月1日(木)から5日(土)まで、同じく大阪府能勢ライフル射撃場で行われ、立命館は総合団体で昨年に続き優勝を果たしました。3種目団体においてすべて優勝する完全優勝でした。また同期間中に第12回西日本女子学生ライフル射撃選手権大会も行われ、立館が学連記録にあと1点に迫る1168点で優勝しました。

総合団体 優勝5126点

50m3×20

団体の部 優勝1673点

個人の部 優勝 松本真由美 656.3 2位 岩倉明香 653.4

50mP60

団体の部 優勝1706点

個人の部 2位 織田健太 673.5

10mS60

団体の部 優勝1747点

個人の部 優勝 中原麻衣 692.0 2位 谷保亜由子 684.0

10mS40W

団体の部 優勝1147点

個人の部 優勝 中原麻衣 494.3 2位 松本真由美 489.2

3位 岩倉明香 486.1

個人の点数はファイナル実施後

■Report 第10回アジア射撃選手権大会に松本真由美・中原麻衣が出場

2月8日(土)～18日(土)、マレーシアのクアラランプールで第10回アジア射撃選手権大会が行われ、立命館からは中原麻衣がAR選手(ジュニア枠)、松本真由美がSB選手として出場しました。事前合宿は2月2日(土)～10日(土)、千葉県でナショナルチームのヘッドコーチであるスーチャック夫妻のもと、同じくアジア選手権に出場する大学生6人と高校生2人とともに行われました。

現地マレーシアは大変暑く、AR射場には冷房設備が整っていたものの、SB射場にはありませんでした。水分補給が欠かせない状態で、SB選手には過酷な条件下での試合となりました。大会会場にはAR射場、SB射場、クレー射撃場があり、その中心には屋外プールがあるという、ユニークな作りでした。周りには売店が並んで、私たち選手はそこで昼食をとりました。表彰台がプールのすぐそばにあり(写真)、個人としては表彰台に上ることはできませんでしたが、中原がLS団体として銀メダルを、松本は3P、P6団体として銅メダルを獲得しました。国際大会でのレベルの高さを感じるとともに、チームメートでもある関東勢とのレベル差も実感した試合でした。この経験を刺激にして意識の中のレベルを上げていきたいと思います。また、出場にあたりOB会より祝金をいただき、現地での出費にとっても助かりました。この場を借りてお礼を申し上げます。(松本真由美) OB会より兩名に5万円ずつのお祝い金を授与しました。学生時代に国際舞台を経験できたことは素晴らしく、今後の活躍を期待しています。(丸山)

中原麻衣 10mS40W 392点 6位
 松本真由美 50m3×20 518点 15位
 50mP60 557点 16位



プール付射撃場の表彰台



売店のタピオカかき氷。味は(T_T)

Past



■新入部員紹介

今年度は5名の新入部員が入部しました。これからご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願いします。



浅田龍太郎 政策科学部1回生
大阪 YMCA 国際専門学校



大川尊司 情報理工学部1回生
石川県小松市立高等学校



片山敏郎 産業社会学部1回生
京都府立園部高等学校



谷保亜由子 産業社会学部1回生
石川県小松市立高等学校



中野雄介 文学部1回生
石川県小松明峰高等学校



川辺優 情報理工学部1回生
立命館宇治高等学校



生石剛規 情報理工学部1回生 上段 氏名・学部
立命館宇治高等学校 下段 出身高校

■射撃場建設途中経過のご報告

OB会常任理事 林 國松

射撃場建設の進捗状況についてご報告いたします。
 昨年の11月に川本理事長から射撃場建設決定のお言葉を頂戴し、射撃場建設についてOB会からも的確なアドバイスを行うようご指示いただきました。

以来、大学で建設部門を担当する管理課の職員の方々と打ち合わせを重ねております。また、警察当局への折衝も開始し、他射撃場の事例も必要となり、静岡県内の射撃場の視察も行いました。

設計については、ほぼ完了の状態、これからは許認可を経て着工へと向かう段階にあります。

S B射場イメージ図



通常の建築物と違い、許認可後の着工となりますので、正確な日程は申し上げられませんが、今年8月着工、来年3月竣工を予定しております。来シーズンは新射撃場でのスタートとなります。建設地は風致地区でもあり、外観は下図のような色彩になります。また、SB射場は当初は地下射場を予定しておりましたが、斜面の土止めを兼ねるような形で地上の室内射場に変更となりました。

室内射場ですので、照明だけでなく、天井からの自然光の採光も考慮しておりますが、風致地区のためガラスの透明色まで規制される状態です。来年のオープニングでは、新射撃場で皆様とお祝いができることを楽しみにしております。



*Future
The Undiscovered Country ...*

■祝ご卒業

3月20日(土)に衣笠キャンパスにおいて卒業式が行なわれ、坪田夏世(産業社会学部)と瀧涼子(政策科学部)2名が卒業しました。今春より坪田は小松、瀧は東京で勤務しております。各地のOB・OGの皆様、よろしくご挨拶申し上げます。また、両名にはOB会から卒業記念品として、名前や射撃部ロゴを彫ったブック形置時計を贈呈しました。2人の今後の活躍を祈っております。



(左より 瀧、坪田)

卒業記念品の置時計



■副部長交代挨拶



副部長 丸山 健
 長年、射撃部の副部長をお務めいただきました亀田康治様(BKC 教学部門次長)に代わり、私が本年5月より副部長に就任いたしました。亀田様には紙面を借りて、今日までのご尽力に感謝申し上げます。

現役部員は素晴らしい戦績を残してくれていますが、4年間の学生生活を送るうえでは、様々な問題も起こります。選手の取得単位不足もその一つです。本学では文武両道を貫くため、一定の取得単位を満たさない学生については、公式戦出場停止の措置をとっています。自らに厳しい足かせをかけた上で、一方では競技の高度化を達成せねばなりません。また、かつては体育会には上下関係の厳しさがありませんでしたが、近年では薄れてきているように感じます。時代に合わせて取捨選択も必要ですが、実社会を生き抜く為の逞しさは身につけてもらいたと思います。当面はOB会事務局との兼任となりますが、飴山部長(理工学部教授)と共に精一杯務めて参りたいと思います。

■ **学連創立50周年記念祝賀会に参加**



祝賀会オープニング



表彰を受ける佐々木副会長



(左端)鏡割りする太田会長

平成16年1月17日(土)、東京・赤坂プリンスホテルにおいて、日本学生ライフル射撃連盟創立50周年記念祝賀会が開催されました。立命館からは太田会長・佐々木副会長をはじめ学連OBを中心に、千葉氏・土田氏・不破氏・八田氏が出席しました。佐々木副会長は10年以上監督を務めた功勞に対して表彰を受けました。大学の枠を越えて、学連委員同士としての結束も固く、卒業以来の再会という場面もあり、懐かしい一夜を過ごしました。

■ **全関西25連覇祝賀会を開催**

平成15年12月6日(土)、ホテルグランヴィア京都のスカイラウンジ「サザンコート」において、全関西学生ライフル射撃選手権大会総合優勝25連覇の祝賀会を開催しました。当日は30名を超えるOB・OGが駆けつけ、現役部員の健闘を称えました。また、卒業する4回生の追い出しコンパも兼ねて、社会人としての門出を祝しました。会場のスカイラウンジは京都の夜景も一望でき、いつもの居酒屋でのコンパとは少しばかり趣が異なりました。現役部員にも大人のムードを味わってもらえたのではないのでしょうか。



太田会長より卒業生に記念品贈呈



(上)25連覇祝賀会写真

詳細はOB会のホームページにも掲載しています。

■ **2004年度立命館スポーツフェロー懇親会**

平成16年7月10日(土)立命館スポーツフェロー(立命館大学体育会OB会より改称)の2004年度懇親会が、京都パークホテルで開催され、射撃部より太田会長・林氏・高木氏・服部氏・有安氏・丸山の6名が出席いたしました。各クラブからの出席者で会場は満員。3時間の宴会もあつと言間に終わりました。次週は我部の祝賀会。京都在住の役員の皆様、連続のご出席有難うございました。



(中央) 林氏



(左より) 服部氏・高木氏
有安氏・太田会長

(中央) 太田会長

<現役部員のホームページ>

<http://www.geocities.co.jp/Athlete-Acropolis/7869/index.html>

<OB会のホームページ>

<http://www.geocities.co.jp/Collegelife-Lounge/9501>

編集 松本 真由美 文3回生 丸山 健 OB会事務局

編集後記

再び使う日を夢みて、20年近く実家に置いてあった「射撃コート・ズボン」。母に捨てられてしまいました。スコープは助かりましたので、部に寄贈しました。夢の続きは現役部員と新射場に託したいと思います。(丸山)